

11月の相談



*行政相談 HP

4日(水) 山南住民センター
9日(月) 市役所第1相談室
12日(木) 青垣住民センター
17日(火) 春日住民センター
18日(水) 柏原住民センター
19日(木) 市島農村環境改善センター
[時間] 午後1時30分～3時30分
☎ 総務課(氷上庁舎内) ☎ 82-1002

*人権相談 HP

○特設人権相談所
9日(月) 柏原住民センター
19日(木) 氷上住民センター
[相談時間] 午後1時30分～4時
29日(日) 春日住民センター
[相談時間] 午前9時～11時30分
○常駐相談所(神戸地方法務局柏原支局)
毎週水曜日(※祝日除く) 午前9時～午後4時
○全国共通人権相談ダイヤル ☎ 0570-003-110
○女性の権利ホットライン ☎ 0570-070-810
○子どもの権利110番 ☎ 0120-007-110
○女性のための相談電話【Mスタジオ】
「ほほえみホットライン」 ☎ 090-9841-9788
毎月第2・第4木曜日
[相談時間] 正午～午後8時
☎ 柏原人権擁護委員協議会 ☎ 72-0176
人権啓発センター(氷上住民センター内) ☎ 82-0242

*消費生活相談

相談場所/市役所くらしの安全課 相談日/土日祝日を除く午前8時30分～午後5時15分
☎ 丹波市消費生活センター(くらしの安全課内) ☎ 82-0996
※土日の電話相談は【消費者ホットライン】☎ 0570-064-370

*行政書士による無料相談会

14日(土) 午後1時30分～4時 柏原住民センター(予約不要)
☎ 県行政書士会摂丹支部 ☎ 72-4696

*無料登記法律相談会

19日(木) 午前9時～11時30分 柏原住民センター(予約不要)[共催] 県司法書士会たんば支部・県土地家屋調査士会但馬支部
☎ 吉竹事務所 ☎ 72-4388

*市民生活の安全・安心確保のための指導相談(電話・面談)

月・火・木・金曜日の午前8時30分～午後5時15分
☎ 総務課(氷上庁舎内) ☎ 82-1002

*ニート・ひきこもり相談 子ども・若者サポートセンター

毎週金曜日/月4回午前11時～午後4時(要予約)
氷上保健センター(第1・3金) 春日住民センター(第2金) 柏原支所(第4金)
予約 ☎ 080-8331-8149
☎ くらしの安全課(氷上庁舎内) ☎ 82-1532

じんけんのとびら

「ふるさとに愛着と誇りをもった人づくり」講座フィールドワークのご案内



明治から大正の部落差別の厳しい時代、神武天皇陵拡張のため自らの村の土地を献納した洞村という村がありました。村の土地を積極的に献納すれば差別から解放されるという「切実」な思いと新たな土地への「期待」。洞村まちづくりの歴史から「ふるさと」に対する「愛着と誇り」の意味を考えます。
■とき/11月15日(日)(詳細は申込者に別途案内します。)
■行先/奈良県橿原市「おおくぼまちづくり館」、石舞台古墳、万葉の里
■定員/40人
■参加費/無料(別途入館料、昼食代は必要)
☎ 氷上文化センター ☎ 82-1064、七日市会館 ☎ 74-2310

消費生活ニュース

— 新聞購読契約の解約 —

訪問販売で新聞購読契約をした場合は、契約書面を受け取った日を含め8日以内であれば、クーリング・オフ(無条件解約)ができます。また、購読期間を定めない契約にしていれば、いつでも解約の申出をすることができます。

しかし、期間を定めた契約では、クーリング・オフ期間を過ぎると、引越などの特別な事情がない限り、原則として、一方的な理由で解約することはできません。この場合、話し合いで解決することになります。

☎ 丹波市消費生活センター ☎ 82-0996

こんにちは! スポーツ推進委員です

☎ 文化・スポーツ課 ☎ 88-5057

本格的な秋を迎え、スポーツに取り組みやすい季節となりました。

「スポーツ」という言葉の語源には諸説ありますが、「日々の仕事や生活から離れる」というものもあり、レクリエーションを全般的にスポーツと捉えていたようです。スポーツに対して「疲れる」というイメージが先行するとどうしても腰が重くなるので、軽い気晴らしの一つとして捉えてみてはいかがでしょうか?

市では毎年10月の最終日曜日を「スポーツの日」としており、講演会・体験教室などを行います。あなたもスポーツの秋に、日常から離れてスポーツに挑戦してみましょう。

インフルエンザとは

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こります。インフルエンザにかかった人が咳やくしゃみをする、ウイルスが空気中に広がり、それを吸いこむことによって感染します。

典型的なインフルエンザの症状は、高熱・頭痛・関節痛・筋肉痛などで、のどの痛み・咳・鼻水などもみられます。普通のかぜに比べて全身症状が強いのが特徴です。気管支炎や肺炎などを合併し、重症化することが多いのもインフルエンザの特徴です。

インフルエンザの予防

- 1 人ごみを避けましょう
- 2 日ごろから規則正しい食生活を心がけ十分な睡眠・休息をとりましょう
- 3 室内の乾燥を避け、加湿をこころがけましょう
- 4 外出時のマスク、帰宅時のうがい・手洗いにつとめましょう
- 5 流行前に予防接種を受けましょう



インフルエンザを予防しましょう!

予防接種

インフルエンザは1月上旬から3月上旬にかけて流行しやすくなります。予防接種の効果は、ワクチン接種後約2週間後からの約5カ月間とされています。流行前の12月中旬までには接種を受けましょう。

丹波市に住民登録があり、接種当日次に該当する方が市内の受託医療機関で接種された場合、費用の一部を助成します。

助成対象者	自己負担額	市助成額
① 65歳以上	1,100円	2,930円
② ①の方で生活保護費受給者	0円	4,030円
③ 生後6カ月児～中学生相当の子ども	1回目	2,000円
	2回目 ※13歳未満	2,000円
		830円

※60歳以上65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器などに一定の障がいがある場合、①と同じ助成が受けられます(事前申請必要)。

※②の方は、医療機関で生活保護受給者証の提示が必要です。

※③の方は、市から送付された「助成券」を必ず医療機関に持参してください。2回目の自己負担額は1回目と同じ医療機関で接種した場合の額です。異なる医療機関の場合は、自己負担金が3,200円(市助成額830円)となります。

☎ 健康課(氷上保健センター内) ☎ 82-4567

開講! 「たんばみらい塾 ～未来の私に会う旅～」

今年7月から8月にかけて、市内中学3年生の希望者10人を対象に、地域課題に対して発展的に解決していく力を身に付けてもらおうと「たんばみらい塾」を実施しました。

丹波市には、豊かな自然、歴史、特産物、技術がありますが、第一次産業の担い手不足・高齢化・少子化・空き家の増加・コミュニティの希薄化などの地域課題も存在しています。子どもたちはそうした地域課題をビジネスチャンスととらえ、仕事をつくり出していくことを学びました。



市職員からの地域資源・課題についての説明



関係団体の職員からのアドバイス

「耕作放棄地が多いということは、利活用可能な土地が多いということ」。そんな地域課題をビジネスとしてとらえて解決できる職業・仕事を自ら考え、J A丹波ひかみ農業協同組合・中兵庫信用金庫・市商工会・市工業会・市森林組合の人たちからアドバイスを受けました。

また、分野ごとに専門性を持った講師から、仕事のこだわりや仕事をさまざまな角度から考える視点について学びました。

今回学んだことを「丹波市ふるさと・みらいを創る教育フォーラム」(開催:11月15日(日)午後1時30分から4時30分 氷上住民センター)で発表しますので、ぜひご来場ください。

☎ 学校教育課(山南庁舎内) ☎ 70-0811